

スマート脳ドックについて

参考：スマート脳ドックの詳細な検査内容

撮影箇所	撮影するシーケンス	詳細内容
頭部	MRI T1（ティーワン）	出血の有無、病変の形態を把握するのに適した検査です。 脳出血、脳腫瘍を発見できます。
	MRI T2（ティーツー）	出血以外の病変を見つけるのに適した検査です。 (T2のみを実施している施設もあり)
	MRI FLAIR（フレア）	白質病変、脳梗塞を発見するのに適した検査です。 (FLAIRのみを実施している施設もあり)
	MRI DWI（ディフュージョン）	早期の脳梗塞を見つける検査です。 (救急に対応できる施設で実施されてる検査です。)
	MRI T2*（ティーツースター）	脳内の血管系の異常所見を見つける検査です。 微小脳出血、血管腫、奇形を発見できます。
	MRA（エムアールエー）	血管を撮像する方法で、脳動脈の狭窄や閉塞、動脈瘤などを 発見できます。
頸部	MRA（エムアールエー）	血管を撮像する方法で、頸動脈の狭窄や、動脈解離などを 発見できます。

スマート脳ドックでは
6つの確認方法を
組み合わせ、脳の状態を
詳細に確認しています。